



輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind



「第2回安全な登下校 PROJECT」 & 小中一貫教育「授業交流」

－ Change (変革) ,Challenge (挑戦) ,Continue (継続) －

今週の月曜日は、二十四節気という「芒種（ぼうしゅ）」。イネ等の芒（のぎ）のある穀物の植え付けの季節ということです。続く火曜日は七十二候という「蟪蛄生（とうろうしょうず）」。蟪蛄とはカマキリ、それが現れ始める頃ということです。学校周辺の田も日毎に変化しています。トラクターの音が響いたと思えば、水が張られ、田植えが始まりました。蛙の合唱もよく聞こえてきます。一昨日は「プール掃除」、5年生、6年生に全校生の為に頑張ってもらいました。季節は夏に一直線、といった感じです。

さて、先週6月3日から実施しておりました「第2回安全な登下校プロジェクト」が昨日で終わりました。今朝は、昨日の下校について班長が点検表に記載をしていました。さあ、結果はどうでしょうか。楽しみです。今回の点検の様子を見てみると、やはり、1回目と違い、流れがスムーズであったと思います。記載については、最初からきちんと記入できる登校班が大変多かったです。「今日も振り返りをよろしく！」と声を掛けると「はい！」という力強い登校班長の返事が返ってきていました。また、天候不良等、振り返り場所を示すコーンが準備できていない時でも、「今日はコーンが無いけれど頼みますよ！」と声を掛けると、頷きながら「はい！」と明るく返事をしてくれました。そして、凡その場所できちんと振り返りができていました。私達は、このような光景をつい当たり前、そんなことで当たり前だと思いがちです。でも、実際、そうでしょうか。一つ一つの行動を支えている個人の思いは様々です。天候でいえば暑い日もあれば、寒い日もあります。まして、その日の朝の出来事、些細なことが、その心に少なからず影響するでしょう。腹が立てば、ぞんざいな態度になる、

なんてことは大人でもよくありがちなことです。一週間、そのような様々な思いを胸に、それでもきちんと自分のすべきこと、自分のしなくてはならないことをやり遂げた子供達は大変立派であると思いました。来週の朝会で表彰をし、子供達のその苦勞と頑張りを称えたいと思います。

また、今週は小中一貫教育の取組である「授業交流」を実施していました。旭丘中学校区（大部小学校・中番小学校・下東条小学校・旭丘中学校）の先生方が相互に学校を訪問し、児童・生徒の様子、授業の様子を参観し交流するものです。見たことのない方の訪問は、子供達にとって少しの緊張と驚きがあります。市内の小中一貫教育でも、このような授業の相互参観は広く行われていますが、この交流が始まった頃、よく、「子供達が参観者を見て気になり、授業に集中できないで、授業の邪魔になっていないか。みたいな声をよく聞きました。保護者の皆様はどう思われますか。確かにそう思えないこともあります。しかし、少し考えてみれば、人間、廊下を歩いている人を見れば目を向けるでしょうし、誰だろうと注視するものです。また、集中が途切れて授業の邪魔になる・・・なんてことは、私の経験上、まずありませんでした。逆に言えば、そのような行動は極々普通の行動だと思います。そのような中で参観された方から大変嬉しい感想をいただいております。それは、「どのクラスの子供達も落ち着いて学習できていますね。」と仰ってくださいました。大変嬉しく有難く思いました。恐らく、参観者が廊下に現れた瞬間、目をやり、緊張し、思わず姿勢を正した子供もいたでしょう、授業中であっても「こんにちわ。」と声を発した子供もいたでしょう、軽く会釈をした子供もいたでしょう、ざわついた子供もいたでしょう、でも、総じて、子供達の、教室全体の、その雰囲気を見られた時、そう思われた、そう感じられたということだと思っています。

中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と相互に連携し、「明日も行きたい！学びたい！学校」を目指し、教育活動を進め、共に歩んでいきたいと願っております。